

地域医療支援病院業務報告要旨

I 概要

病院名	フリガナ	ドクリツギョウセイホウジンコクリツビョウインキョウサイガイリョウセンター
		独立行政法人国立病院機構災害医療センター
所在地		東京都立川市緑町3256
管理者氏名		大友 康裕
承認年月日		平成20年 7月23日
業務報告書提出日		令和 6年10月 5日

II 業務報告

対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
------	--------------------

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	紹介率 65%以上、かつ逆紹介率 40%以上	
紹介率	① / (② - (③ + ④ + ⑤))	80.9 %
※患者数は延べ人数	①紹介患者数	8,496 人
	②初診患者数	16,949 人
	③地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数（初診に限る）	6,265 人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数（初診に限る）	182 人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数（初診に限る）	0 人
逆紹介率	⑦ / ② - (③ + ④ + ⑤)	161.9 %
※患者数は延べ人数	⑦逆紹介患者数	17,001 人

2 共同利用の実績

共同診療件数	32 件
高額医療機器共同利用件数	192 件
共同利用病床数	5 床
共同利用病床利用率	31.2 %
共同利用施設・設備	C T, M R I, R I、セファロ
登録医療機関数	371

3 救急医療の提供の実績 【（１）又は（２）のどちらかを選択すること】

（１）救急患者数

救急搬送による救急患者数	8,989 (5,607)
救急搬送以外の救急患者数	866 172)
合計（うち初診患者数）	9,855 (5,779)

※括弧内は、初診救急患者数

（２）救急医療圏（２次医療圏）人口における救急搬送患者数割合

A:救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数	人
B:救急医療圏（２次医療圏）人口※	人
C:A/B×1000> 2	(少数点第１位まで記入)

※２次医療圏人口に関しては総務省統計局により実施された直近の国勢調査の人口（該当２次医療圏における区市町村人口の総和）を用いること。

（３）救急用又は患者輸送用自動車所持台数

救急用又は患者輸送用自動車	3 台
---------------	-----

4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

研修の内容	地域包括ケア研修、がん患者就労支援研修（開催） ※救急・災害医療研究会、がん看護研修他	
地域の医療従事者への実施回数		9 回
合計研修者数	※院外からの延べ参加人数	350 人
研修体制	研修プログラムの有無	有
	研修委員会の設置の有無	有
	研修指導者数	31 人
研修施設	地域医療研修センター、医療手技センター、図書室、第２会議室	

5 診療並びに病院の管理運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者	院長	
管理担当者	各部門担当者	
診療に関する諸記録の保管場所		診療録管理室及び各担当部門
病院の管理及び運営に関する諸記録の保管場所	共同利用の実績	地域医療連携室
	救急医療の提供の実績	診療録管理室
	地域医療従事者向け研修の実績	管理課
	閲覧実績	各担当部門
	紹介患者に対する関係帳簿	地域医療連携室

6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者	院長		
閲覧担当者	専門職		
閲覧に応じる場所	面談室等		
前年度の総閲覧件数			245 件
閲覧者別延べ件数	当該病院に患者を紹介しようとする	医師	0 件
		歯科医師	0 件
	地方公共団体		110 件
	その他		135 件

7 委員会の開催実績

委員会の開催回数	4 回
委員会の概要	○医療提供等実績報告について ・患者紹介に対する医療の提供実績（紹介率・逆紹介率） ・共同利用の実績・救急医療の提供体制等 ・地域医療従事者の資質の向上を図るための研修実績 ○当院の医療連携の現状と課題について ・地域医療連携室業務報告・地域のニーズに応じた地域医療支援病院のあり方について（意見交換）

8 患者相談の実績

相談を行う場所	相談室
主たる相談対応者	医療社会事業専門員8名
相談件数	2,767 件
相談の概要	他院への転院・施設入所等の援助業務、支払い困難者等に対する医療保険証の活用や生活保護制度の活用の支援等の経済問題相談、精神科・身体合併症例への支援、在宅療養支援、がん相談支援等

9 地域医療支援病院に求められるその他の取組 (任意)

(1) 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無		有
評価を行った機関名、評価を受けた時期	評価を行った機関名 評価を受けた時期	日本医療機能評価機構 令和5年7月

注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

(2) 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無		有
情報発信の方法、内容等の概要	ホームページへの掲載、医療連携ニュースの発行、地域医療連携フォーラムの開催、クリニカルカンファレンスの開催、市民公開講座の開催、病院・診療所等への訪問、地域医師会等との医療機能連携の会の開催、登録医の拡大、登録医の医療機関紹介リーフレットの作成等	

(3) 退院調整部門

退院調整部門の有無		有
退院調整部門の有無概要	地域医療連携室に医療相談部門を設置し、在宅療養支援、転院支援、がん支援相談、社会福祉支援等の調整をMSWと看護師がしている。	

(4) 地域連携を促進するための取組

地域連携クリティカルパスの策定		有
策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組	・脳卒中地域連携パス 北多摩西部脳卒中連携パス協議会参加、計画管理病院・連携病院との検討会等参加、東京都主催の都脳卒中連携パス全大会に参加し連携強化を図っている。 ・大腿骨頸部骨折地域連パス 北多摩西部大腿骨頸部骨折地域連パス協議会参加、計画管理病院・連携病院検討会等参加。 ・がん地域連携パス 地域連携クリティカルパス普及のため、がん治療患者に対しパスと情報提供書を渡している。また、在宅緩和ケアの患者へは緩和ケア地域連携パスを使用。	

病院名 独立行政法人国立病院機構災害医療センター